

ミニレター

あぜみち通信

令和3年9月1日
249号

編集・発行：（一社）愛知県農業会議

◎ 名古屋市農業委員会から農業施策に関する協力要請がありました

8月10日に名古屋市農業委員会（岩田公雄会長）から「令和4年度名古屋市農業施策等に関する意見書」が川上万一郎会長に提出されました。

意見書で示された施策の主な内容は、次の6点です。

- ①税制（相続税の納税猶予に関する営農要件の緩和及び対象施設の拡大、市街化区域内農地の多面的機能を評価した固定資産税の軽減）
- ②生産緑地（特定生産緑地制度の内容の十分な周知）
- ③農業基盤の維持・整備（老朽化した用排水路の長寿命化のための事業への予算の増額、土地改良区に対する十分な予算措置）
- ④人材育成（親子や高齢者等を対象とした農業体験、学校における農業体験、農具を実際に扱ってみる講座などの幅広い講座・研修の実施、就農希望者に対する研修制度の強化、農業経営を行っている農業者に対し、県や農協などと協力した品種・栽培・販路などの営農指導の実施など）
- ⑤地産地消の推進（地産地消給食講師の派遣、農業公園等でのイベントや農業体験等の一層の充実、学校給食等における市内農産物の活用・PR、簡易な直売手段の普及、「なごやさい」のブランド化）
- ⑥遊休農地・荒廃農地の解消（交付金による財政支援）



【名古屋市農業委員会からの協力要請】

今回の意見書提出の趣旨は、これらの施策の中には、市町村では解決できない制度上の課題もあることから、関係各所への要請に協力を依頼するというものです。

なお、同様の意見書については、7月12日に河村たかし名古屋市長へも提出されています（R3.8.1：248号にて既報）。

◎ 常設審議委員会（８月）の審議状況について

８月１０日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法等に係る市町村農業委員会及び愛知県知事からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

８月の諮問は、１５の農業委員会から農地法第５条に基づく転用事案２０件、１３６,８９５㎡について審議し、いずれも原案どおり許可して差し支えない旨承認されました。また、愛知県知事から農業振興地域の整備に関する法律施行令第１条の規定に基づく「愛知県農業振興地域整備基本方針」の変更に関する事案１件を審議し、原案どおり変更して差し支えない旨承認されました。

（参考） 諮問農業委員会

春日井市（１件）、小牧市（２件）、稲沢市（１件）、豊明市（１件）、長久手市（１件）、飛島村（１件）、常滑市（１件）、岡崎市（１件）、安城市（１件）、西尾市（１件）、幸田町（１件）、豊田市（２件）、新城市（２件）、豊橋市（２件）、豊川市（２件）

◎ 愛知県農業会議の臨時総会を開催しました

８月１０日に「愛知県三の丸庁舎」において、令和３年度収支予算の変更、理事の補充選任の２つの議案を議題として、一般社団法人愛知県農業会議の令和３年度第１回臨時総会を開催しました。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、６月に開催した通常総会と同様に規模を大幅に縮小し、出席者を限定しての開催となりました。

総会では、主催者として川上万一郎会長の挨拶の後、議事に入りました。

収支予算の変更は、国の補助事業である機構集積支援事業費について今年度の配分額が示されたため、当初予算額（２３,４７５千円）から１０,０４７千円を減額するとともに、県の補助事業である新規就農等相談支援事業費について、他事業への統合による事業廃止に伴い、事業費全額の１００万円を減額するものです。また、理事の補充選任については、市長会会長及び町村会会長の交代に伴い、両団体の新たな会長を後任の理事に選任するものであり、いずれも原案どおり承認されました。



【川 上 会 長】

◎ 理事会を開催しました

臨時総会後に令和３年度第４回理事会を開催し、欠員となっていた副会長１名に成瀬敦理事（愛知県町村会会長、幸田町長）を選定しました。

また、令和３年３月２６日の令和２年度第３回臨時総会以降、本理事会開催前日の令和３年８月９日までの期間を対象とした会長の職務の執行状況を報告しました。

◎ あいち米の初出荷式が行われました

8月12日に「J Aあいち海部鍋田支店集出荷場」において、愛知県経済農業協同組合連合会及びあいち海部農業協同組合共催の「令和3年産あいち米初出荷式」が開催されました。

式典は、主催者の中野修 J Aあいち経済連常務理事、平野和実 J Aあいち海部代表理事組合長の挨拶、地元選出県議会議員等による来賓祝辞の後、J Aあいち海部のマスコットキャラクターで J Aあいち海部広報大使である「れんたろう」に一日検査員を委嘱し、出荷米の重量・品質検査が行われ、検査結果は「1等」でした。

続いて、来賓、主催者及び「れんたろう」らによる出発式(テープカット)が行われ、令和3年産あいち米を載せたトラックを送り出しました。

J Aあいち海部では、初出荷式の日を「おにぎりの日」と制定し、お米の消費拡大に向けた取り組みを企画・実施しています。なお、例年式典終了後に行われていました試食会・消費者交流会については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年度に続き中止となりました。

◎ 耕作放棄地対策推進会議が開催されました

8月19日に愛知県農業水産局主催（事務局：農業振興課）の令和3年度耕作放棄地対策推進会議が、Web形式により開催されました。

金沢県農業水産局技監の挨拶の後、県農業振興課から令和3年度の耕作放棄地対策について、県内の状況の報告と各農林水産事務所の「耕作放棄地解消推進チーム」による取組の推進等の説明がありました。

次いで、東海農政局農村計画課から最適土地利用対策交付金について、県園芸農産課から令和3年産米の需給調整と経営所得安定対策等についてそれぞれ説明があったほか、県の本庁各課、各農林水産事務所等から取組状況の報告がありました。

◎ 「農の雇用事業」「就職氷河期世代就農者実践研修支援事業」に係る指導者養成研修会等を開催しました

8月16日に名古屋市中区の「アイリス愛知」において、「農の雇用事業」及び「就職氷河期世代就農者実践研修支援事業」の経営者又は研修指導者を対象とした「指導者養成研修会」を開催しました。事業の仕組みと事業実施の留意点を始め、助成金交付申請書等の記載方法と留意点等を説明した後、社会保険労務士の野田千賀氏による労務管理の注意点に関する講演及び質疑応答などを行いました。

また、8月19日には同会場において、農業法人等の「農の雇用事業」実施希望者を対象とした「事業説明会」を開催しました。

さらに、8月20日には同会場において、「農の雇用事業」及び「就職氷河期世代就農者実践研修支援事業」の研修生を対象とした「事業説明・研修会」を開催しました。事業の仕組みと事業実施の留意点等を説明した後、参加者一人ひとりから就農の動機、研修の内容、今後の目標などについて発表していただきました。

◎ 愛知県水田農業検討会議が開催されました

8月24日に名古屋市中区の「J Aあいちビル西館」において、愛知県水田農業検討会議（主宰－県農業水産局長）が開催されました。

この会議は、愛知県の水田農業に関する基本的事項を検討するもので、愛知県農業再生協議会からの依頼に基づき、愛知県における2022(令和4)年産米の生産数量目標の目安の設定方針(案)について協議を行いました。この方針(案)は、9月2日開催の愛知県農業再生協議会に報告されます。

◎ 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会を開催します

農業会議では、農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会を9月10日（東三河）、14日（尾張）及び17日（西三河）に、新型コロナウイルス感染防止策を徹底して開催します。

研修内容は、①農業委員会を巡る情勢と「新たな農地利用の最適化」について（全国農業会議所）、②農地利用最適化の推進について（県農業会議）、③農地の集積・集約化にむけての活動（県農業振興基金）のほか、代表の農業委員会による事例発表等を予定しています。

◎ 農業委員会事務局に対する巡回支援を実施します

農業会議では、農業委員会事務局への巡回支援を9月8日から10月18日まで10箇所で行います。

主なテーマは、①遊休農地調査の実施と課題、②愛知の農業委員会活動活性化運動の推進、③農地情報公開システムの利活用の推進等を予定しています。

今後の主な行事予定

- 9月 7日 常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 9月10日 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会（豊川市文化会館）
- 9月14日 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会（稲沢市民会館）
- 9月17日 農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会（知立市文化会館）
- 10月 5日 農業者年金加入推進特別研修会（アイリス愛知）
- 10月 6日 常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 10月 8日 農業経営士、農村生活アドバイザー及び青年農業士認定会議（県三の丸庁舎）
- 10月11日 知多地域協議会（阿久比町中央公民館）
- 10月13日 東三河地域協議会（豊橋市役所）
- 10月14日 都道府県農業会議会長会議（未定）
農業者年金加入推進特別研修会（豊川市勤労福祉会館）
- 10月15日 新城設楽地域協議会（新城市勤労青少年ホーム）
- 10月19日 西三河・豊田加茂地域協議会（豊田参合館）
- 10月26日 海部地域協議会（飛島村中央公民館）